

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	高校	学年	2年	コース	選抜・進学
教科	地理歴史	科目名	日本史演習		単位数 1
担当者	A 白石雄一郎	B 森崎卓哉	C 池田隼貴		
教科書	山川出版社 詳説日本史B 改訂版		副教材	山川出版社 詳説日本史図録 第7版	

○学習到達目標

- ・考える力の育成
- ※授業中の発問・論述試験で評価をしていきます。
- ・大学入試合格のため、時代の流れと比較を中心とした技法を習得していきます。
- ※テストは、まとめの問題と、論述問題で行い、ここで評価をしていきます。
- ・史料の活用を通して、目的達成のための方法論・方策を習得できるようにしていきます。
- ※授業中の意見発表等で評価をします。
- ・主体的で意欲的な態度を育てます。
- ※毎時間、AL指数20を目標に生徒主体の授業を展開します。

○教科道徳教育到達目標

国際社会に関する知識と理解を得るとともに、国際社会で主体的に生きる精神を養う。また我が国の抱える問題の解決に向けて多面的・多角的に考察し、議論する力を身に付ける。

○学習方法

- ・日本史の勉強はすべてが暗記ではありません。覚えることに固執せず、歴史を題材にして、人間としての生き方・考え方、これからの自分の将来を考えることが必要です。
- ・授業中に発問をします。考え方を求めますので、わからないで終わらせるのではなく、自分なりの考えを発表して下さい。考えることが重要です。
- ・講義内容を自分でまとめられる工夫をして下さい。
- ・課外では復習と入試問題の演習を中心に行います。

○グレード別授業の基準

- A=受験で日本史Bが必要な者(成績上位者)
- B=受験で日本史Bが必要な者
- C=受験で日本史Bが必要ではない者
- ※日本史B(3単位)も同じグレードのメンバーで実施する

○指導計画(学習内容・考査等の予定)

	A・Bクラス	Cクラス	考査予定
6月	旧石器～古墳時代	旧石器～古墳時代	
7月	飛鳥・奈良時代	飛鳥・奈良時代	※まとめテスト1回実施
8月	平安時代	平安時代	
9月			
10月	問題演習	問題演習	
11月	鎌倉時代	鎌倉時代	
12月			※まとめテスト1回実施
1月	問題演習	問題演習	
2月	室町時代	室町時代	※まとめテスト1回実施
3月			

○評価方法

ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。

「ルーブリック評価表」

「ルーブリック評価表」		教科&単元		氏名	
単元	どの時代にも対応（汎用型）	指導テーマ	①時代区分の特徴を把握し、きちんとその区別ができる。 ②多角的な視野に基づき、それぞれの時代の特色を自分の意見で表現できる。		
観点	評価段階 評価項目	A（3点）	B（2点）	C（1点）	D（0点）
知識及び技能	確認テスト	確認テストなどを行い、10点分を加点する。			
	確認テスト（再テスト）	確認テスト（再テスト）を行い、10点分を加点する。			
思考力・判断力・表現力等	自分の意見を簡潔に表現①	資料を複数活用して、自分の意見をまとめている。	1つの資料だけで、自分の意見を表現している。	資料のデータをそのまま提示し、自分の意見が表現されていない。	期限内に、提出されていない。
	自分の意見を簡潔に表現②	誰にでもわかる表現で、教室にいるすべての人が聞き取れる声で伝えている。	誰にでもわかる表現で、教室にいるすべての人が聞き取れない声で伝えている。	表現がわかりにくい、教室にいるすべての人が聞き取れる声で伝えている。	表現がわかりにくく、教室にいるすべての人が聞き取れない声で伝えている。
	授業で取り上げていない項目についての研究	授業で取り上げていない項目について、3つ以上理由を添えて挙げることができる。	授業で取り上げていない項目について、2つ以上理由を添えて挙げることができる。	授業で取り上げていない項目について、1つ以上挙げたが、その理由を説明できない。	授業で取り上げていない項目について、1つも挙げることができない。
	次回のテーマについての分析・表現	テーマの特徴を踏まえて、その課題を明確にし、次のテーマについて的確に表現できる。	テーマの特徴を踏まえて、その課題を明確にし、次のテーマについて一部のみ表現できる。	テーマの特徴を踏まえて、その課題を明確にし、次のテーマについて全く表現できない。	期限内に、提出されていない。
	提示されたテーマに基づく資料の収集	提示されたテーマを考察できる資料を、3つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、2つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、1つのみ提示している。	期限内に、提出されていない。
主体的に学習に取り組む態度	予習課題への取り組み	期限内に、きちんと自分の力でやり遂げて提出している。	期限内に、他の人に教えてもらいながらやり遂げて提出している。	期限内に提出したが、すべてはやり遂げていない。	期限内に、提出されていない。
	他者の意見に対する意欲・関心	自分と異なる意見に対して、その違いを正しく認識し、その違いをすべての確に表現できる。	自分と異なる意見に対して、その違いを正しく認識し、その違いを一部のみ表現できる。	自分と異なる意見に対して、その違いを認識できず、その違いを表現できない。	期限内に、提出されていない。
	授業中の取り組み①	全ての板書を写し、講義の内容などを別枠でメモするなど工夫が見られた。	全ての板書を写した。	板書の一部を写した。	板書をしなかった。
	授業中の取り組み②	提示されたテーマを考察できる資料を、3つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、2つ以上提示している。	提示されたテーマを考察できる資料を、1つのみ提示している。	期限内に、提出されていない。
	復習課題への取り組み	与えられた課題に対し、自主学習を行い、期限内に提出できている。	与えられた課題を期限内に提出できている。	与えられた課題を期限後ではあるが、提出できている。	与えられた課題の提出ができていない。